

県産種雄牛「^{ひらただかつ}平忠勝」について

このたび、県で実施している産肉能力検定において、枝肉重量・脂肪交雑ともに全国トップクラスの種雄牛が誕生しました。

「平忠勝」は、増体及び肉質ともに優れた種雄牛の造成を目指して、県（農業総合研究センター畜産試験場）が平成15年に金山町の農家から買上げ、候補種雄牛として産肉能力検定（現場後代検定）を実施してきたものです。（詳細プロフィールは別紙のとおり。）

このたび、県内の農家（畜産試験場も含む。）で肥育されてきた「平忠勝」の子牛（19頭）の枝肉成績が判明しました。

その結果、A-4,5率（上物率）が89.5%、枝肉重量が483kg、脂肪交雑（BMSナンバー）で7.6となり、平成14年から17年まで能力評価された全国261頭の検定種雄牛の成績と比較すると、枝肉重量は3番目、脂肪交雑は全国トップの成績となっております。

2月6日に開催された県肉用牛育種改良推進協議会において、県産種雄牛として供用していくこととなりました。

【検定成績】

	枝肉重量	ロース芯面積	脂肪交雑	摘 要
「平忠勝」	483.4kg	58.8c m ²	7.63	現場後代検定材料牛19頭の平均
全国平均	421.1kg	52.4c m ²	5.03	家畜改良センター取りまとめ H17全国の検定種雄牛72頭の平均

1 精液の供給

県内畜産農家の関心は高く、昨年10月から精液供給を開始していますが、生産本数を上回る注文状況となっております。

畜産試験場では、県内の和牛生産者の要望に十分応えられるよう「平忠勝」の精液生産と供給に努めていきます。

2 平忠勝の活用方針

質量兼備の種雄牛が誕生したことから、肥育素牛の生産用に限らず、繁殖雌牛の生産用として供用されていくことによって、今後、本県の和牛改良に大きく貢献していくものと期待されます。

< 連絡先 >

山形県農林水産部
エコ農業推進課畜産室
TEL 023-630-2473
担当 狩野・上野